

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			個別療育では時間調整や部屋を分けるなどしてスペースを産み出す工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			小学生の活動時間より少し早めに個別学習時間を設けており対応できていると思う。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	1	スペース上学習、遊び、運動の場所を固定していないが場面場面で切り替えていて児童も対応できていると思う。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			毎日に清掃除菌を必ず行っている。室内の空気汚染予防や感染症予防の為に換気をこまめに行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			スタッフ同士意見を伝えあい共有している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			日々の送迎時をはじめ個別面談時などで保護者の声を拾って早期の改善、対応に努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページの公開を行なっている。保護者の評価に対し職員会議において周知するとともに改善内容等話し合う。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	1	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		職員の経験年数や役割の段階に応じた研修が課題である。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			個別の状態増像を職員間で把握共有し家族ニーズを取り入れて支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		1	今度標準化したアセスメントシートでの客観的分析も検討してく予定である。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			保護者のとらえ方や家庭での様子を踏まえて現実に即した具体的な支援内容を盛り込むよう工夫している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			毎月全員で参加している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			児童がいろいろな経験を出来るようにスタッフ一同提案している。季節に応じた遊びの設定案を作成している。回数や経験に応じて素材や遊び方を変えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6			日々の療育の中で適宜個別活動と集団活動を組み合わせている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日の流れを口頭とノートで確認しあっている。時差出勤の職員にも情報共有できる工夫をし、その日の活動内容や役割分担の確認を周知している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			気づいた点や改善点などを報告しあっている。勤務時間の都合で振り返りに参加できない職員には次の勤務時に周知している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			限られて時間内であっても丁寧な記録作成に努めている。今後も記録内容をもとに支援方法の振り返りや改善を行うようにしたい。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			子供の療育の様子を共有し連携を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				対象児童の在籍なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				対象児童の在籍なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			今年度は移行支援対象児童がいなかった。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			今年度は移行支援対象児童がいなかった。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		札幌市地域支援マネージャーの巡回訪問を受けて、支援の方向性についての助言を受けている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	3	コロナ感染を思い外部との交流を控えている。公園や外出時に交流する機会がある。

	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		1	2	
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日ごろから子供の成長を伝えながらの療育や保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2		
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			見学や契約時に丁寧な説明をしている。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			保護者からの意見を取り入れて個別支援計画を作成し署名捺印をもって同意を得ている。
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			保護者との話し合いの場を設け事業所内や家庭での姿を伝えあっている。定期的な個別面談を通して子育ての悩みを共有し保護者が子育ての工夫に気づける場を設定している。
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	コロナ禍の現在は開催が困難ではないか。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			相談やクレームの申し入れは窓口を明記し迅速に対応している。子どもからの相談等は変化をとらえ対応が必要と感じた支援者による聞き取りや寄り添いに限られている。
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			家族に対しては契約時に個人情報の保護の説明を行い、個人情報の限定に関する承認を得ている。
	③⑲ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			連絡帳で情報交換している。子供の意思疎通は個々の特性に応じたコミュニケーションツールを工夫している。保護者については口頭での説明に加え文書メモ等を使って子育てで忙しい中でも確実に伝える工夫をしている。
	④⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2	感染予防の観点から開催を見合わせている
	非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	
④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		6			毎月2回火災、地震などの防災訓練や不審者等を想定した訓練を想定して行っている。
④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		6			

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6			
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	2		該当している児童が今のところ見当たらない。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。